

防疫指導

(令和5年度)

目的

県内養殖生産者等に対して魚病被害軽減および水産物の安全・安心の確保のため、予防、診断、治療等の防疫指導および巡回指導を実施した。

実績

防疫指導のうち魚病検査は61件、保菌検査は104件であり、その魚種別及び月別の内訳は表1及び2のとおりであった。

表1 月別魚病検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
伝染性造血器壊死症	2	1		1						1		1	6
伝染性造血器壊死症+細菌性冷水病		1				1		1				1	4
冷水病	5			1		1	1	1			1	1	11
連鎖球菌症				2									2
細菌性腎臓病					1							2	3
カラムナリス症						1							1
白点病						1							1
ガス病							1						1
不明	1	1					1		1	1			5
アユ													
異型細胞性鰓病				2									2
細菌性冷水病						1							1
ビブリオ病											4		4
ビブリオ病+エロモナス症												1	1
細菌性鰓病												3	3
エドワジエラ・イクタルリ感染症				3		1							4
不明				3	2						1		6
ニホンウナギ													
パラコロ病									1				1
ウイルス性血管内皮壊死症 +パラコロ病+シュードダクチロギルス症									1				1
パラコロ病+シュードダクチロギルス症									2				2
ゲンゴロウブナ													
エロモナス症		1											1
ミヤコタナゴ													
フタゴムシ症	1												1
計	9	4	0	12	3	6	3	2	5	2	6	9	61

表2 月別保菌検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
保菌無し	6	2	1	1	2	2	2		8		4	8	36
アユ													
保菌無し	15	1	2	1	2	7	5		7	7	5	15	67
冷水病原菌		1											1
計	21	4	3	2	4	9	7	0	15	7	9	23	104

(水産研究部)